

3月8日は国際女性デー

女性が働きやすい職場を考える

3月8日、連合が開催する3.8国際女性デーの中央集会に合わせて、JR連合でも各単組の女性役員が集まり、各社の現状に関する意見交換を行ったり、女性議員からの社会制度の課題の説明を受けるなどして、知識を深めました。

JR九州労組からは、中央本部の吉田中央執行委員と阿多中央執行委員、佐賀支部の土橋執行委員の計3名の女性役員が参加しました。



【国会議事堂見学】議場では自分たちが選挙で応援した議員の氏名標を探してみました。



【衆議院議員会館】食堂の800円定食。JR連合国会議員懇の泉議員、大串議員、原口議員にお会いできました。



【参議院議員会館】矢田わか子議員（電機連合組織内議員）より社会制度の問題について説明を受けました。



【JR連合】昼は女性役員で意見交換を行い、夜は連合の中央集会に皆と一緒にweb参加しました。



■ 矢田わか子議員による学習会

保育無償化、高校無償化などの制度の適用には所得制限があり、共働きの夫婦ほど世帯収入が増え適用外になってしまいます。世帯収入を増やさないために女性がスキルアップを躊躇することに繋がりがねないという現在の制度の問題点について説明を受けました。

■ JR連合女性役員意見交換会

JR各社で、女性社員が働きやすい環境が少しずつ整ってきたことから、各社とも30代、40代の女性社員が増えてきています。出産や育児だけでなく、今後は更年期や育児と介護の両立などについても、しっかり考えていかなければいけない課題だという認識を共有しました。

国際女性デーとは 1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが起源であると言われています。1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて、デモを行いました。以来、この日は“女性の政治的自由と平等のために行動する記念日”と位置づけられ、世界各国で様々な行動が展開されています。

